

番号	1	対象地名	湧水公園とその周辺
所在地	富士市比奈 2 丁目		
種別	公園・宅地・水場		
湧水分類	医王寺湧水群		
水質	水温 14.6℃ 電気伝導度 14.90mS/m (湧水マップ調査)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 本対象地は「湧水公園」を中心とし、その周辺にある 3ヶ所 (①医王寺前、②丸池、③長学寺前) の湧水源を含むエリアである。 湧水公園は、湧水を溜める池やあずまやなどの休憩施設が配置され、地域住民の憩いの場となっている。また中央の池では、透明度の高い美しい湧水を眺めることができる。 中央の池から流れる水路に面した住宅には、現在も水場が残されているところがある。 公園の南側には「丸池」と呼ばれる湧水 100%の天然プールがあり、夏場、子どもたちの水遊びの場として活用されている。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> 対象地内には、駄菓子店「つじや」、カフェ「喫茶まる二」などがあり、住民や来訪者から利用されている。 対象地の周辺は、概ね低層住宅地が広がるとともに、医王寺や長学寺、諏訪神社などの寺社も見られる。また、北に富士市立高等学校や医王寺保育園、西に吉永第一小学校、南に吉原東中学校などの公共施設がある。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 医王寺は、開山が奈良時代の僧・行基<small>ぎょうき</small>によるとされる歴史ある寺であり、山号を「龍水山」と称しているが、古くは「流水山」と書かれていた。 医王寺と湧水池の関わりは古く、永禄 9 年 (1566) 今川氏真<small>じりょうあんどうじょう</small>の寺領安堵状に「胸高の池」という名称で登場している。当時の社寺領の図面には医王寺の池 (湧水池) とその南東に位置する長学寺前の湧水、隠居さんの池 (丸池) が描かれ、現在とほぼ変わらない様子が伺える。 湧水池は 2 本の川になって流れ出し、東は富士岡地区の水田を、西は比奈地区の水田を潤してきた。 		
その他	<p>■逸話</p> <p>【逸話】 【医王寺のお薬師さん】</p> <p>【文化財】 医王寺は、薬師堂に安置されている木造薬師如来坐像 (市指定文化財) は目の病氣にご利益があるといわれており、かつては医王寺の池の湧水で体をふいて身を清め、それからお百度をふんだと伝えられている。</p> <p>【湧水の利活用】</p> <p>【祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬師堂の縁日では、お堂の前に水を入れた器が置かれ、その水を目につけると治ると言われていた。 		

■文化財

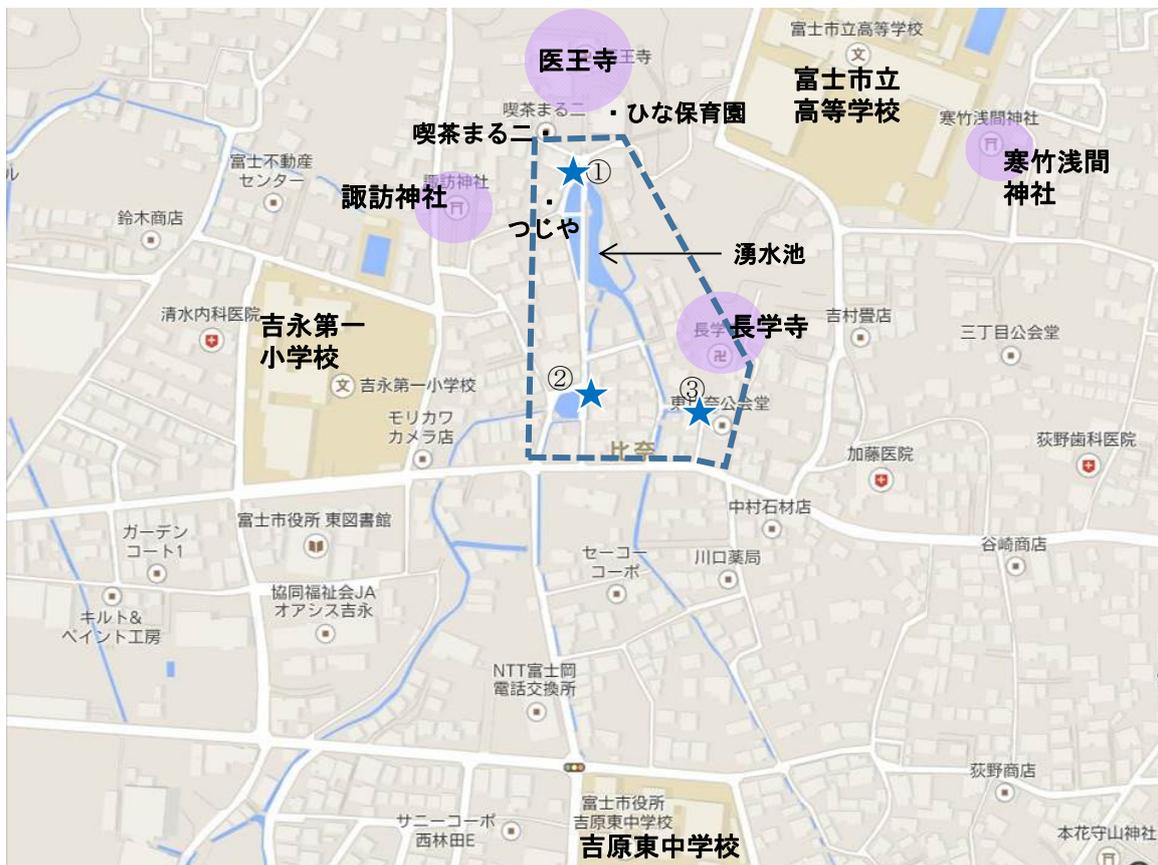
- ・ 医王寺の境内にマキ（富士市指定天然記念物）、墓地には、武田氏の軍師として名高い山本勘助の墓などがある。

■湧水の利活用

- ・ 湧水池は、神聖視されていたため、洗い物などには利用されなかった。
- ・ 湧水池から流れ出す川沿いでは、古くから飲料水や洗い場として活用され、敷地内に水が湧く家では夏にトタンの箱を浮かべて肉や魚を冷やすなど、毎日の暮らしに活用されていた。
- ・ 現在も水が湧く家では、飲料水以外の洗い物に利用するなど、生活用水の殆どを湧水でまかなっている。

■祭り

- ・ 医王寺：初薬師祭典（薬師如来坐像の御開帳）3月第2日曜日
- ・ 長学寺：富士手紙まつり（手紙塚がある）11月23日（いいふみのひ）
- ・ 諏訪神社：祭礼「大龍の舞」奉納（10月17日頃の土曜日）





① 医王寺前 (湧水源)



② 丸池 (湧水源)



③ 長学寺前 (湧水源)



湧水池の鯉

番号	2	対象地名	ぎよくせんじ 玉泉寺東の湿地と水路
所在地	富士市比奈 1354		
種別	畑		
湧水分類	医王寺湧水群		
水質			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本対象地は、玉泉寺東側の湿地帯と水路であり、対象地内には湧水源が3箇所ある。 (①湿地内 ②玉泉寺高台の裾にある水路 ③池) ・ 農地に湧水が流れ出し、湿地が形成され、東側半分は湧水を活用してクレソンが栽培されている。 ・ 玉泉寺の高台の裾に流れる水路は、豊富な湧水の流れを見ることができ、途中から2本に分岐している。 ・ 南方に流れる水路沿いには湧水の池があると同時に、小さな橋や石垣の親水護岸が整備され、庭のような水辺空間が形成されている。 ・ 本対象地から北東に富士山と愛鷹山を眺めることができる。 		
周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地の周辺は、概ね低層住宅地が広がり、宅地内の水路に水場が残されている。また、南に製紙工場、南東に吉永第一小学校がある。 ・ 東の高台に玉泉寺があり、境内の桜が美しく、高所からの景色も楽しむことができる。 ・ 玉泉寺北側の岳南忠霊廟<small>がくなんちゅうれいびょう</small>は桜の名所であり、開花の時期には花見客が多く見られる。 		
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玉泉寺は、山号を「瑞龍山」<small>ずいりゅうざん</small>と称する曹洞宗寺院で、御本尊は延命地藏菩薩。元慶2年(878)空海により開山と伝わるが詳細はわからない。旧大昭和製紙創業者の斉藤知一郎氏の菩提寺であり、斉藤氏の寄進により寺は整備された。 ・ 大正6年、比奈の吉永加工紙株式会社が、寺の西側山林からの湧水を和洋紙製造のために取水した。 		
その他 【水辺の 動植物】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水辺の動植物 ・ アオサギ ・ ホタル 		



① 湿地内（湧水源）



② 玉泉寺高台の裾にある水路（湧水源）



③ 池（湧水源）



湿地から見える富士山



池から湿地を眺める



湿地の中のアオサギ